

令和7年度 第2回 長門市環境審議会 会議録（要約版）

日時：令和7年12月16日（火） 13：30～14：30

場所：長門市役所4階 会議室1・2

出席者：委員 11名（欠席 6名）、事務局 6名、委託事業者 3名
傍聴者 0名

1 開 会

2 市民生活部長あいさつ

3 議 事

（1）長門市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について（諮問）
に対する答申について

1 計画素案について事務局から説明

前回からの変更点について重点的に説明。

2 答申案について

事務局が作成した答申案を提示し、意見を求めた。

いただいた意見を踏まえ、答申案を修正することで了承。

修正後の答申案については、会長の了解をもって、審議会意見として提出することで了承

4 その他の事

今後のスケジュールについて

会長の確認を経て市長へ答申予定。

最終的な答申内容は、後日報告。

来年2月にパブリックコメント実施予定。

5 閉 会

【主な質疑等】

(1) 長門市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について（諮問）に対する答申について

ア 計画素案に対する質問等

	発言内容
A 委員	<p>前回案になかった土地設置型太陽光発電（メガソーラー等）を追加した理由は何か。</p> <p>国はメガソーラー支援を見直しており、自然破壊や災害リスクも懸念される。次世代技術（ペロブスカイト太陽電池など）の進展も踏まえ、あえて今導入する必要はないのではないか。</p>
事務局	<p>2050 年カーボンニュートラル達成には、現状の試算でメガソーラー級の設備が必要と判断した。</p> <p>ただし、技術革新など状況の変化に応じて計画は柔軟に見直す。</p> <p>山を削るような開発は想定しておらず、災害時の電源活用（レジリエンス強化）なども含め、設置方法は慎重に検討する。</p>
S 委員	計画内容は良いが、2050 年のゼロカーボン達成には土地設置型太陽光発電に限定せず、多様な施策を検討すべき。また、気候変動により「新たな魚種が獲れる」といったプラスの影響も計画に盛り込み、明るい視点を加えることを提案したい。
事務局	ご意見ありがとうございます。関係部署と連携し、計画への反映を協議します。

イ 答申案協議

	発言内容
B 委員	計画の目標達成には、市民・事業者が「なぜ取り組むのか」という意義を理解し、行動に移せるような啓発が不可欠である。具体的で実践しやすい行動目標を示し、啓発の重要性を答申に明記してはどうか。
事務局	ご指摘の通りの記述を検討したい。
S 委員	前回の意見が反映された答申案であり、高く評価いたします。
	今後は、この答申内容が実行計画へ具体的に落とし込まれることが重要です。
	特に「行政の積極的な関与」という方針については、実行計画にも明確に盛り込んでいただくよう、重ねてお願ひいたします。